

# GUIDE BOOK 2023

IMAGINE  
THE  
FUTURE.

AC入試・特別入試

P.02 AC入試

P.04 国際バカロレア特別入試

P.04 国際科学オリンピック特別入試

P.05 海外教育プログラム特別入試

P.05 研究型人材入試



筑波大学  
University of Tsukuba

# 2023年度 学群・学類の定員と募集人員

		個別学力検査等														
学群	学類・専門学群	入学定員	前期日程				後期日程	推薦入試	アドミッションセンター入試	国際バカロレア特別入試	国際科学オリンピック特別入試	海外教育プログラム特別入試	研究型人材入試	帰国生徒特別入試	私費外国人留学生入試	留学生特別プログラム入試*2
			(総合選抜)入試区分別	(総合選抜)入学者の2年次受入予定人数	(学類・専門学群選抜)											
人文文化学群	人文学類	120	文系 128	30	45	20	20	5	若干					若干		
	比較文化学類	80		20	35		20	5	若干					若干		
	日本語・日本文化学類	40		20			14	3	若干						3	
社会国際学群	社会学類	80		20	40		16		若干							4
	国際総合学類	80		20	36		20		若干							4
人間学群	教育学類	35		3	22	3	7		若干						若干	
	心理学類	50		5	26	4	15*1		若干						若干	
	障害科学類	35		3	17	3	12		若干						若干	
生命環境学群	生物学類	80		20	14	18	20	3	若干	若干				若干	若干	5
	生物資源学類	120		20	52	15	27		若干							6
	地球学類	50		13	21	4	12		若干					若干	若干	
理工学群	数学類	40		理系Ⅰ 154	10	22		8		若干					若干	
	物理学類	60		理系Ⅱ 41	15	20	10	15		若干	若干				若干	
	化学類	50		理系Ⅲ 90	13	14	10	13		若干	若干				若干	
	応用理工学類	120		30	49	22	16		若干						若干	3
	工学システム学類	130	33	55	20	20		若干						若干	2	
	社会工学類	120	30	60	15	15		若干						若干		
情報学群	情報科学類	80	20	42		10	8	若干	若干					若干		
	情報メディア創成学類	50	18	20		8	4	若干	若干					若干		
	知識情報・図書館学類	100	45		10	40	5	若干						若干		
医学群	医学類	98	5	44 地域枠*3		44 地域枠*3		3		2	若干					
	看護学類	70	5	40		25		若干						若干	若干	
	医療科学類	37	10	15		12		若干						若干		
体育専門学群	240			140		88	12	若干					若干	若干		
芸術専門学群	100		5	50	5	40		若干					若干	若干	若干	
合計	2,065		413	879	159	537	45	3+若干	若干	2	若干	若干	若干	若干	27+ 若干	

\*1 人間学群心理学類の推薦入試は、大学入学共通テストを課します。

\*2 「私費外国人留学生特別コース入試」「Japan-Expert (学士) プログラム特別入試」「地球規模課題学位プログラム (学士) 入試」「総合理工学位プログラム (学士) 入試」を合計した数を示します。

\*3 地域枠については、国との協議によって、募集の有無及び定員が確定次第、本学ホームページにて公表します。

# AC入試（アドミッションセンター入試）

- ✓ 自己推薦型（書類＋面接）の入試です。
- ✓ 自分で課題を見つけ、解決する能力を評価します。
- ✓ 現役生、過年度生、社会人。大学入学資格を持つ方を広く対象としています。

## 【過去の実績】

	募集人員	志願者数	合格者数
2022年度	45人	247人	36人
2021年度	45人	284人	41人
2020年度	68人	446人	43人
2019年度	70人	469人	54人
2018年度	75人	377人	57人

## ● アドミッション・ポリシー

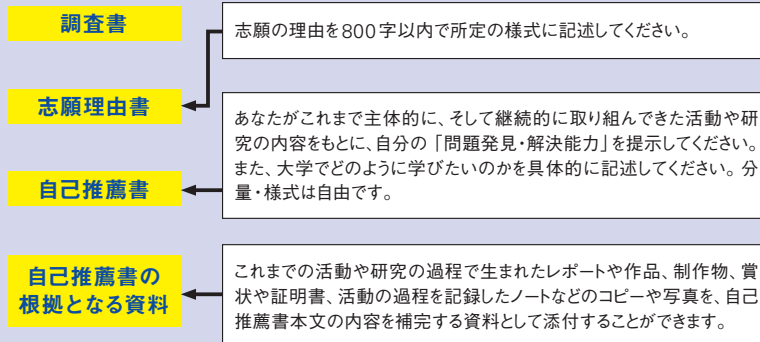
志願者の主体的で継続的な取り組み（最近2年間、又はそれ以上の長期間にわたるもの）から「問題解決能力」を評価します。この入試の合格者にふさわしい志願者がいないと判断した場合は、募集人員どおりに合格者を決定することにはせず、個別学力検査等（前期日程）の募集人員によって、その人員を充足します。以下の各学類・専門学群のアドミッション・ポリシーと併せて評価します（最新のアドミッション・ポリシーは学生募集要項で確認してください）。

## ● 自己推薦資料テーマ例

近年のAC入試で合格した先輩たちの自己推薦資料テーマです。AC入試は今まで行ってきた活動や研究に基づく自己推薦内容の評価する入試です。これらの例にとらわれず、思い切ってチャレンジしてみましょう。

## ● 第1次選考（書類審査）

次の書類を審査し、第1次選考合格者を決定します。



## ● 第2次選考（面接・口述試験）

第1次選考の合格者に対し、30分程度の個別面接を実施します（必要に応じて延長される場合があります）。あなたが「自己推薦書」などで示したことを、あなた自身の言葉でさらに詳しく説明してください。また、大学で学びたいことについて、これまでの学習状況などについてもアピールしてください。

実施学群・学類	アドミッション・ポリシー	募集人員	自己推薦資料テーマ例
人文・文化学群	人文学類	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 茨城県の装飾古墳研究と保存に関する課題</li> <li>■ 郷土の伝統芸能——関本祇園囃子の伝播と継承</li> <li>■ 江戸町人の戦い——江戸の火事はなぜ華なのか</li> <li>■ シュメール神話と最高神の在り方について</li> <li>■ 衰退する方言</li> </ul>
	比較文化学類	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 近代文学の新たな可能性と太宰治</li> <li>■ 神社の象徴化から考える継承</li> <li>■ 日本オリジナルアニメーション映画に見られる特有の自然観とは</li> <li>■ 異文化交流を楽しむ、多文化共生を実現するために</li> </ul>
	日本語・日本文化学類	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外国人児童向け日本語教育の現状と課題</li> <li>■ 日本語教育——被支援者から支援者へ</li> <li>■ 新語の形成を助ける要素とは</li> </ul>
生命環境学群	生物学類	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 災害救済鳩に関する研究</li> <li>■ 朝顔の開花の研究</li> <li>■ エチレンがアクリルソチオシアネート生成量に与える影響</li> <li>■ センチュウの記憶と学習</li> </ul>
情報学群	情報科学類	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 組版ソフトウェアの開発</li> <li>■ 脳を再現するモデル・モジュールの開発</li> <li>■ 動画編集ソフトウェアの編集手法改善の研究</li> <li>■ 実用的な災害救助ロボットの開発</li> <li>■ データから読み解く抽象画・画家の感情抽出</li> <li>■ ロボット製作と超音波乾燥の研究</li> </ul>
	情報メディア創成学類	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 片手デバイス、モーションキャプチャの開発</li> <li>■ 新しい生活様式におけるVRフィットネスの研究</li> </ul>
	知識情報・図書館学類	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 情報を活用して私たちの生活を豊かにする仕組みを作るために</li> <li>■ 映像コンテンツをより身近にするプラットフォーム</li> <li>■ CMS用の日本語フォントと学内情報共有プラットフォームの開発</li> <li>■ 公共図書館における「社会的弱者」への課題解決支援機能について</li> <li>■ 地方公共図書館の伝統芸能アーカイブ機能について</li> </ul>
体育専門学群	A（問題解決型）：ひとつの運動種目における優れた技能を重視し、自主的な実践活動における科学的知識の活用と論理的思考能力を多面的に評価します。 B（競技力型）：抜群の運動技能を有し、日本代表として権威ある国際大会で活躍できる競技力を重点的に評価します。また、基礎学力と表現力についても総合的に評価します。	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 水球競技におけるゴールキーパーの能力向上</li> <li>■ アーティスティックスマイニング競技「リフト」における水中動作・同調性・空中動作の最適化</li> <li>■ 技術面と心理面の双方から検討してきた棒高飛びの競技力向上のための方策</li> <li>■ 女子ラグビー界発展のために取り組むべきこと</li> <li>■ バドミントン競技力向上のために必要な条件の分析とその獲得に向けて</li> </ul>

受験に特化した勉強ではなく  
将来につながる活動に  
時間を使える入試です

筑波大学理工学群工学システム学類\*2年  
山名 琢翔さん

■東京都立小石川中等教育学校出身

## IT人材育成事業への応募がきっかけ

**中** 学の頃から部活で物理研究会に所属し、ヒューマノイドロボットの開発を続けてきたこともあり、高校2年生のとき、経済産業省が推進する「未踏IT人材発掘・育成事業」に応募しました。高校1年生で参加した京都大学での高大連携プロジェクトで応募を勧められたことや、一緒にロボットを作ってきた友人の別の研究成果で未踏事業の一次審査が免除になることを知ったことなどがきっかけですが、採択された時点で高校生でも約170万円の研究費が支給される点も大きな魅力でした。ロボット製作には材料費などでかなりお金がかかるからです。

AC入試の存在を知ったのは、未踏事業に採択された頃でしたが、その時点では大学入試のことはまったく頭にありませんでした。高校2年生まではロボットづくりに集中し、受験のことを考えるのは高校3年生になってからにしようと思っていたからです。9か月間の研究成果が認められ、高校3年生の春に友人と共に、高校生では非常に稀な「スーパークリエイター」として認定され、その時点で初めて、この経験を生かしたいとAC入試に挑戦することにしました。受験勉強自体を否定はしませんが、受験に特化しすぎた勉強に時間を費やすよりも、自分の将来につながるような活動に時間を使いたいという思いが強く、筑波大学のAC入試はピッタリだと感じました。秋には結果がわかるため、受験勉強への精神的な負担を軽減できることも大きな動機でした。

AC入試に向けては、未踏事業に応募したときのような応募書類を準備すると同時に、未踏事業とは別の新しいロボットの製作にも着手し、開発中のロボットを持って面接に臨みました。さすがに緊張しましたが、面接自体は終始なごやかな雰囲気、大きな失敗もなく手応えを感じました。

## 「オセロAI」のコンテストで世界一に

**高** 校3年生のとき、国際物理オリンピックにつながる「物理チャレンジ」に参加して好成績を収めることができましたが、そのときに出会った物理数学に興味を持ち、大学入学後は物理数学に関する授業を多く履修しました。その延長で微分方程式やコンピュータ科学の世界に魅せられたこともあり、微分方程式を人間が解く場合と、コンピュータで解く場合の理論や方法などを100ページ以上のPDF冊子にまとめ、インターネット上に公開しました。

大学2年生からは「オセロAI」の世界にも手を広げました。SNS上の知人から刺激を受け、コンピュータ上で対戦できるオセロゲームを作ったのですが、それでは満足できず、機械相手に戦えるような、コンピュータが自動的に着手する「オセロAI」の開発へと発展させることに。世界中の「オセロAI」が互いにコンピュータ上で戦い優劣を競い合うサイトの存在を知り、自分で書いたコードを送信したところ、世界で最も優秀な「オセロAI」として認定されました。

ただし、このコンテストサイトではサーバーの負担を減らすための制約条件が大きく、その制約をはずした場合の能力はそれほど高くないことが判明。そこで、クマ財団のクリエイター奨学金を得て、現在、世界で最も強いとされているオセロAIを超えるソフトの研究に取り組んでおり、最近になってそのソフトに勝利したと確信できるような結果が得られました。今後は、この研究で得た知見を、オセロゲームを学ぶ教育ソフトに作り直し、無料公開するつもりです。

## 人々のものづくりを支援する側に回りたい

**卒** 業後の具体的な進路に関してはまだ何も決めていません。卒業研究のテーマも未定で、大学に在る間には、その時々でやりたいと思ったことを思い切りやれば良いと考えています。大学院入学に関しても、研究したくなったら社会人になってからでも、好きなどきにスタートすれば良いというスタンスです。

ただ、中高からものづくりに取り組んできたこともあり、お金や知識、スキルといった「障壁」で、ものづくりを諦めることがないような世界にしたいという願いは強く持っています。最終的には、そうした障壁をなくすことに貢献し、人々のものづくりを支援するような活動に携わっていきたい。微分方程式の冊子公開やソフトの無料公開も、そうした活動の一環だと捉えています。

AC入試の受験を考えているみなさん。大学では興味のあることばかりを追究できるわけではありませんが、かなりの自由度で好きなことができる環境であることは間違いありません。人生にはいろいろな道が考えられますが、私にとって一番大切なことは、自分のテンションの上がる道を選んで生きること。AC入試はそういう道の一つとして選択する価値があると思っています。



世界No.1の称号を得た「オセロAI」を  
搭載したオセロソフトの前でポーズ。



未踏事業の報告会で研究成果を  
発表。その後「スーパークリエイター」として正式に認定されました。

※現在、工学システム学類はAC入試を実施していません。  
AC入試を実施する学群・学類については02ページを参照してください。



# 国際バカロレア特別入試

全学で実施



筑波大学では、国際バカロレアにかかる活動を支援するとともに、探究心をもって主体的に学び、信念をもって物事に挑戦し、世界的に活躍できる人材を育成するための入学試験として、全学で国際バカロレア特別入試を実施します。



国際バカロレア  
「10の学習者像」

## ● アドミッション・ポリシー

国際バカロレア資格を取得した者を対象として、主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標をもって学ぶ意欲、また、語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して入学者を選抜します。

国際バカロレア資格を取得したものを対象とした1回目（7月募集）と、国際バカロレア資格を取得した者及び取得見込みの者を対象とした2回目（10月募集）の、2回の入試を実施します。1回目（7月募集）に受験した者は2回目（10月募集）に受験することはできません。

## 【過去の実績】

2022年度	1回目		2回目	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
	4人	2人	34人	9人

### 1回目(7月募集)

対象	: 国際バカロレア資格を取得した者
選抜方法	: 第1次選考／書類選考 第2次選考／面接・口述試験
出願期間	: 7月上旬～7月中旬
第1次選考合格発表	: 8月上旬
第2次選考期間	: 8月中旬～8月下旬
第2次選考合格発表	: 8月下旬
募集学類	: ●教育学類 ●心理学類 ●障害科学類 ●医学類 ●医療科学類

### 2回目(10月募集)

対象	: 国際バカロレア資格を取得した者及び取得見込みの者
選抜方法	: 第1次選考／書類選考 第2次選考／面接・口述試験、小論文、実技等 (学類・専門学群ごとに設定)
出願期間	: 10月上旬(スコア提出10月下旬)
第1次選考合格発表	: 10月下旬
第2次選考期間	: 11月下旬
第2次選考合格発表	: 12月中旬
募集学類	: すべての学類・専門学群

詳細は、筑波大学のホームページをご覧ください。

# 国際科学オリンピック特別入試



## 世界の科学技術をリードする人材をめざして

世界中の中等教育課程にある生徒（日本では主に高校生）が参加する、世界的な科学技術コンテストである「国際科学オリンピック」。

国際科学オリンピック特別入試は、同大会に日本代表として選抜された人、代表選考などで一定の成績を収めた人が対象となる入試です。明確な目的を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を、従来の試験とは違う観点から評価します。

## ● アドミッション・ポリシー

国際科学オリンピックに出場した者、またはその代表者選考会において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価して選抜します。

## 入試概要

### 【過去の実績】

	志願者数	合格者数
2022年度	3人	2人
2021年度	4人	4人
2020年度	5人	2人
2019年度	12人	6人
2018年度	6人	3人

### 募集学類

●生物学類\* ●物理学類 ●化学類 ●情報科学類 ●情報メディア創成学類  
\*生物学類は、令和6年度入試（令和5年度実施）から実施を取りやめます。

### 対象となるオリンピック

●化学 ●生物 ●物理 ●情報 ●その他

### 選抜方法

エントリーシートに基づいて、15分程度の個別面接により行います。ただし、生物学類のみ書類審査による第1次選考を行います。

各学類の出願要件は募集要項で確認してください。

# 海外教育プログラム特別入試

医学群医学類で実施

筑波大学では、海外留学を支援するとともに、探究心をもって主体的に学び、信念をもって物事に挑戦し、世界的に活躍できる人材を育成するための入学試験として、帰国生徒や私費外国人留学生を対象とした海外教育プログラム特別入試を実施します。対象は、アビトゥア、普通バカロレア、GCE Aレベル、SAT、APを履修・受験した者です。

## 募集学群・学類、募集人員

医学群医学類：2名

## 選考方法

### ■ 第1次選考

出願時に提出された各教科の成績評価や書類等により、第1次選考合格者を決定します。

### ■ 第2次選考

第1次選考の合格者に対して面接・口述試験を行い、提出書類等の内容を含めて総合的に判定します。

## 【過去の実績】

	志願者数	第1次合格者数	合格者数
2022年度	18人	4人	1人
2021年度	5人	1人	1人
2020年度	10人	3人	2人
2019年度	8人	3人	1人
2018年度	8人	1人	0人

アドミッションポリシーや出願資格の詳細については、募集要項で確認してください。

# 研究型人材入試

医学群医学類で実施



筑波大学では、自然科学において自ら発見した課題に対し、主体的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価する新たな入学者選抜を実施します。対象は、日本学生科学賞等で優秀な成績を収めた者、国際科学オリンピック等で優秀な成績を収め、自らも研究を行った者等の中で、将来研究者を目指す者です。

## ● アドミッション・ポリシー

広い基礎学力に加えて、自ら発見した自然科学の課題に対し、自主的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価します。また、医学を志向する動機、修学の継続性、研究者としての適性・資質、社会的適応力等総合的な人間性についても評価します。

## 募集学群・学類、募集人員

医学群医学類：若干名

## 対象となるコンテスト等

①日本学生科学賞、高校生科学技術チャレンジ、科学の芽賞において一定以上の成績を収めた者、②国際科学オリンピックや科学の甲子園において一定以上の成績を収め、理系の研究を行った者、③理系の学術論文を執筆した者、④番号①と同等又はそれ以上の優れた理系の研究を行った者（詳細は募集要項を参照）。

## 【過去の実績】

	志願者数	第1次合格者数	合格者数
2022年度	7人	4人	1人
2021年度	7人	2人	1人
2020年度	4人	1人	0人

## 選考方法

### ■ 第1次選考

出願時に提出された書類等により、第1次選考合格者を決定します。

### ■ 第2次選考

第1次選考合格者に対して面接・口述試験および適性試験を行い、提出書類の内容を含めて総合的に判定します。

### ■ 最終選考

第2次選考合格者のうち、大学入学共通テストの得点が原則として8割以上の者を合格とします。

1年生から  
研究できる!

## 先導的研究者体験プログラム (ARE)

筑波大学には、入学後も高校時代の研究を継続できる環境があります!



先導的研究者体験プログラム (ARE) は、全学群の1～3年生が応募できる研究活動支援プログラムです。研究計画書を提出し、採択されれば、研究費と研究場所が提供されます。スーパーサイエンスハイスクール (SSH) での研究活動、理科や総合的学習における自主的な課題研究など、大学入学前から科学的な研究を行ってきた人はもちろん、大学進学後には研究活動をしたいと考えていた人も、文系・理系を問わず応募してください。

## 【過去5年間の申請および採択件数】

	申請数	採択件数(人)
2021年度	63件	58件(58人)
2020年度	62件	58件(58人)
2019年度	95件	77件(77人)
2018年度	88件	56件(63人)
2017年度	67件	47件(49人)

詳しくはWebをご覧ください。

<https://www.are.tsukuba.ac.jp>

# AC入試 Q&A

## Q. AC入試の選考で重視されるのはどんなことですか

**A. 志願者の問題発見・解決能力を、最も重視します。**

提出された自己推薦資料の内容をもとに、志願者の主体的・継続的な活動の中で、どのような問題の発見と解決があったのかを評価します。その際、活動の実績そのものを重視するのではなく、志願者がどのような工夫によってその実績を上げたのか、また、その実績をどのように認識しているのかを重視します。すなわち、結果に至る過程や、活動の「質」が重要になります。また、志願者が大学で学びたいことが、志願する学類・専門学群で学習可能か、志願先の研究教育内容と志願者の目的とが合致しているか、ということも重視します。人物評価の入試ではありません。

## Q. 問題発見・解決能力のある人とは、具体的にどういう人ですか

**A. 主体的な興味や関心から、自分自身の問題意識を育て、その解決に向けて独自の視点から工夫や努力を続けている人です。**

例えば、物理や化学の実験、歴史の研究、生物の観察などを続ける過程で、自分自身の問題意識をもち、さまざまに工夫しながらその問題に取り組んできた人です。また、生徒会活動、課外活動、ボランティア活動などの中で独自の問題意識を育て、解決に向けて工夫を続けてきた人です。このような人には「主体的に学ぶ力」という大切な学力が備わっていると考えられます。AC入試では、志願者がそうした活動を続ける中で、何をどう考え、どう行動したのかを評価します。過去の合格者の自己推薦内容はwebページでも公表しています。

<https://ac.tsukuba.ac.jp/examination/report>

## Q. 出願するにはコンテストや競技会での入賞歴や何らかの資格取得、検定合格などが必要ですか

**A. 必要ではありません。**

AC入試は資格や実績そのものを評価する入試ではありません。資格や実績の有無にとらわれず、これまでの自分の活動（研究、課外活動、趣味など）における問題の発見と解決の過程を具体的に提示することが大切です。問題解決の過程で取得した資格や合格した検定、入賞歴などがあれば自己推薦の資料に加えることはできます。その資格や検定が自分の活動の中にどう位置づけられるのか、きちんと説明できることが大切です。ただし、体育専門学群では運動競技の実績を、他の資料とともに重視して評価します。競技の実績がまったくなければ合格はきわめて困難です。

## Q. SSH※などの共同研究の成果を自己推薦に利用できますか

※スーパーサイエンスハイスクール

**A. 利用してもかまいません。**

ただし、その共同研究において志願者本人が担当した部分や、志願者本人の具体的な貢献を、自己推薦書の中で明確に示す必要があります。他のメンバーが担当した部分や、他のメンバーが成し遂げた問題解決とははっきりと区別して、志願者本人の問題発見・解決能力が読み取れるように提示してください。

## Q. 国際科学オリンピックでの成績は評価の対象になりますか。

**A. AC入試は実績そのものを評価する入試ではありません。**

志願者の活動における問題発見・解決の過程を重視して評価します。一方、国際科学オリンピック特別入試は実績を重視して評価します。

## Q. 高校の成績（評定平均値）は重視されますか

**A. 主として、入学後、支障なく学習できるかどうかを確認するために使われます。**

合格者には、結果的に成績がよい人が多くなっていますが、出願要件ではありません。

## Q. なぜ、募集時期、選考時期が早いのですか

**A. AC入試は、志願者の継続的な活動における問題発見と解決の過程を評価する試験であり、試験当日の偏差値的学力を評価するわけではありません。**

したがって高校3年の早い時期でも適切な選抜が可能であると考えられます。「早く進路を決めて、入学までの時間でさらに自分の勉強を進めたい」という志願者を求めているのです。また、早めに実施することで、大学入学共通テストや個別学力検査への影響を最小限にできると考えています。決して早く学生を確保することが目的ではありません。このことは、合格者数が必ずしも募集人員を充たさないことから分かるものと考えています。

## Q. 必ず募集人員どおりに合格者が決まりますか

**A. いいえ。**

ふさわしい志願者がいないと判断した場合は、合格者が募集人員より少なくなり、欠員分は個別学力検査等（前期日程）に振り替えられます。一方、AC入試で募集人員より多く合格することもあります。その場合でも、個別学力検査等（前期日程）の募集人員が減ることはありません。

## Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか

**A. 推薦入試や個別学力検査等（前期・後期日程）と併願できます。**

国際科学オリンピック特別入試、国際バカロレア特別入試、海外教育プログラム特別入試、研究型人材入試とは併願できません。

# 国際科学オリンピック特別入試 Q&A

## Q. 出願できるのはどのような人ですか？

**A. 過去3年間に、国際科学オリンピックに日本代表として選抜された人や、国内予選で好成績を収めた人などです。**

詳しくは学生募集要項（6月下旬公表）でご確認ください。

## Q. 選考で重視されるのはどんなことですか？

**A. 予選や本選での成績に加え、明確な目的意識や計画的に学ぶ意欲、入学後に必要となる学習適応性などです。**

調査書やエントリーシート、15分程度の面接などを含めて総合的に合否を判定します。大学入学共通テストは課しません。

## Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか？

**A. 推薦入試や個別学力検査等（前期・後期日程）と併願できます。**

AC入試、国際バカロレア特別入試、海外教育プログラム特別入試、研究型人材入試とは併願できません。

# 国際バカロレア特別入試 Q&A

## Q. 国際バカロレア最終試験のスコアは何点以上で合格できますか？

**A. スコアだけで合否を判定しません。**

EE、TOK、CASの成果などに関する提出書類や、面接・口述試験と併せて総合的に判定します。

## Q. TOEFL等、英語の4技能検定試験の結果も提出するのですか？

**A. 英語を履修していれば必要ありません。**

履修していない場合の扱いは教育組織ごとに違いますので、募集要項でよく確認してください。

## Q. 10月応募の選考方法はどのようなものですか？

**A. 教育組織ごとに設定します。**

小論文や実技、適性検査など、学類・専門学群ごとに異なります。募集要項でよく確認してください。

# 入学への歩み



\*国際バカロレア特別入試(7月募集、10月募集)の日程については04ページを参照してください。

## 学生募集要項の入手方法

各学生募集要項(願書)は、本学のホームページからダウンロードできます。  
<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad-list-guidebooks/>  
(HOME ▶ 入試情報 ▶ 学群入試案内 ▶ 入学案内・募集要項の一覧)

その他、入試に関する資料の請求方法はこちらをご覧ください。  
<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad-requests/>  
(HOME ▶ 入試情報 ▶ 学群入試案内 ▶ 募集要項(願書)等の請求方法)

インターネット出願登録ページはこちらからアクセスできます。  
(登録は出願期間のみ可能です)  
<https://e-apply.jp/e/tsukuba/>

ガイダンス・進学相談、過去の「AC入試・特別入試ガイドブック」についてはこちら  
▶ <https://ac.tsukuba.ac.jp>

2022年度  
受験生のための  
筑波大学説明会  
(オープンキャンパス)

実施日程

2022 8/6(土) 8/7(日) 8/11(木) 8/13(土)

実施方法、申込時期等については決定次第、本学ホームページで公表します。

その他、アドミッションセンター教員によるオンライン進学相談(大学院への進学相談を除く)や、進学相談チャットボット、各種進学説明会などの情報は、アドミッションセンターのホームページでご確認ください。

<https://ac.tsukuba.ac.jp/>

アドミッションセンター

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1  
TEL.029-853-7385 FAX.029-853-7392  
<https://ac.tsukuba.ac.jp>

詳細は筑波大学ホームページへ

筑波大学 で 検索